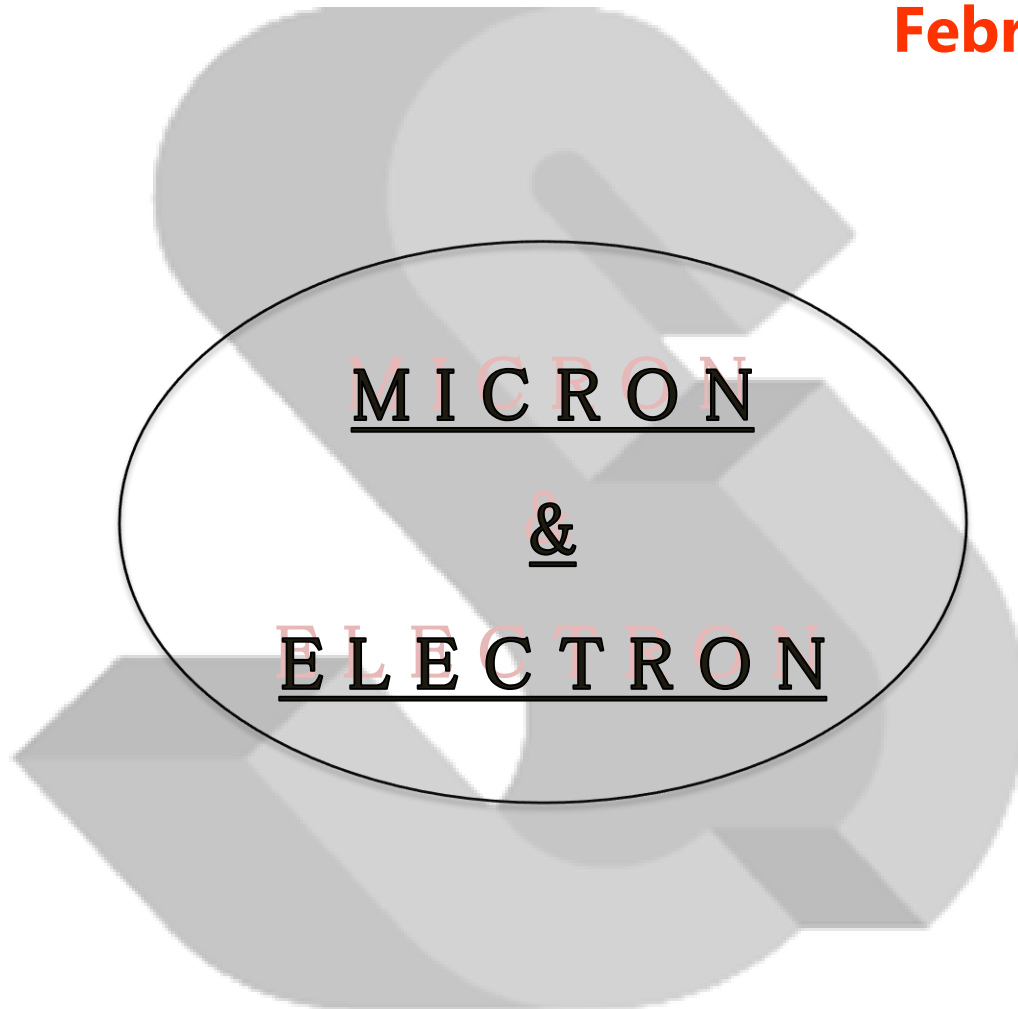


株式会社 鈴木

2017年6月期 第2四半期
決算説明資料

February 24, 2017



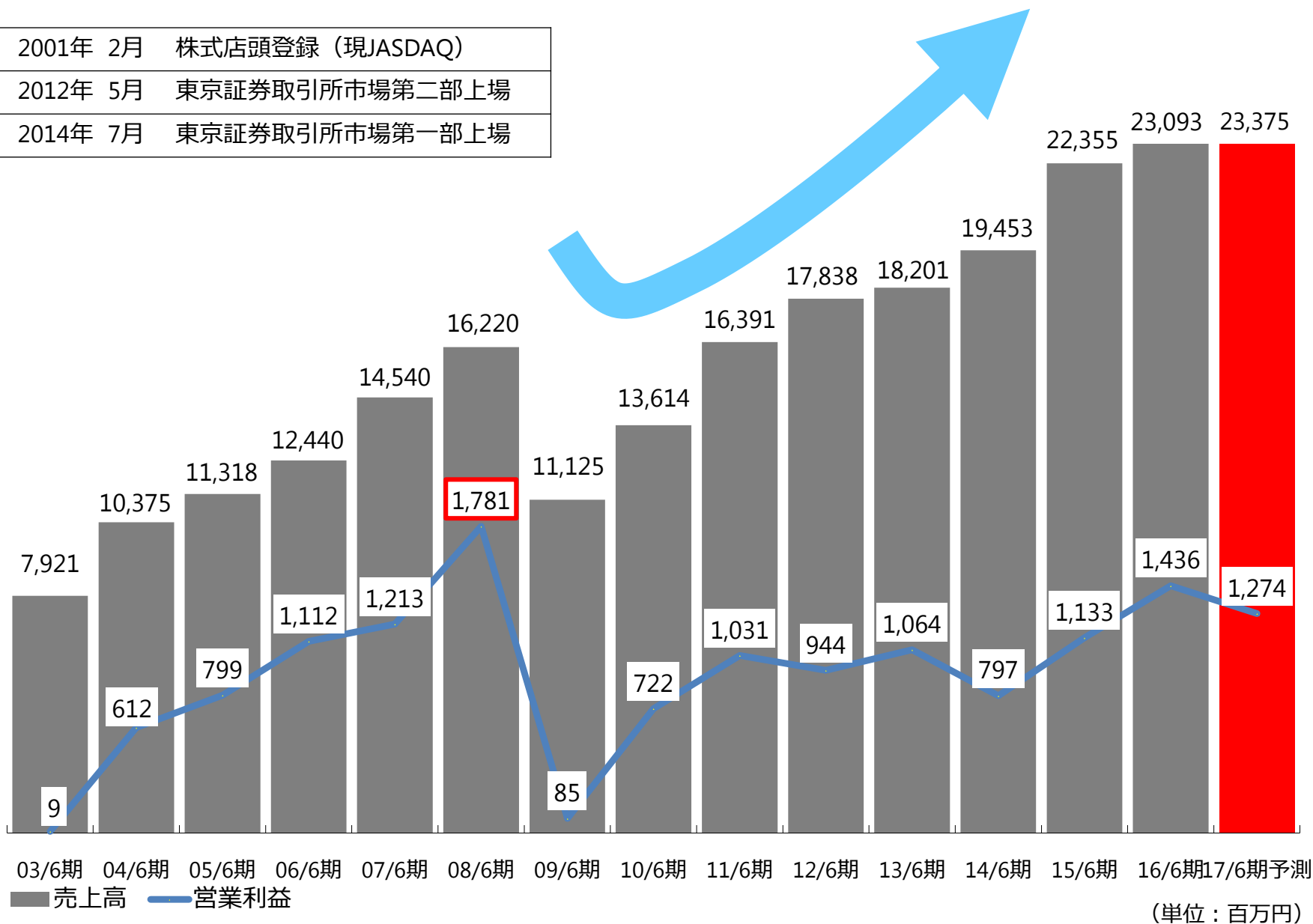
SUZUKI

SUZUKI CO.,LTD.

東証一部 code:6785

2017年6月期 第2四半期 業績説明

2001年 2月	株式店頭登録（現JASDAQ）
2012年 5月	東京証券取引所市場第二部上場
2014年 7月	東京証券取引所市場第一部上場



- 電子部品コネクタはスマートフォン向けの需要が拡大し、利益面で大きく貢献
自動車電装向け部品は引き続き堅調
中国子会社は商品構成の切り替えが進み、赤字が縮小
海外子会社への貸付金より為替差損が2億1千6百万円発生
- 結果、2017年6月期第2四半期は減収ながら当期純利益が大幅増加

百万円	2016/6期 第2四半期		2017/6期 第2四半期		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	11,954	100.0	11,456	100.0	△498	△4.2
売上総利益	1,600	13.4	1,715	15.0	115	+7.2
営業利益	812	6.8	832	7.3	20	+2.5
経常利益	681	5.7	632	5.5	△49	△7.2
親会社株式に帰属する 当期純利益	198	1.7	294	2.6	96	+48.5

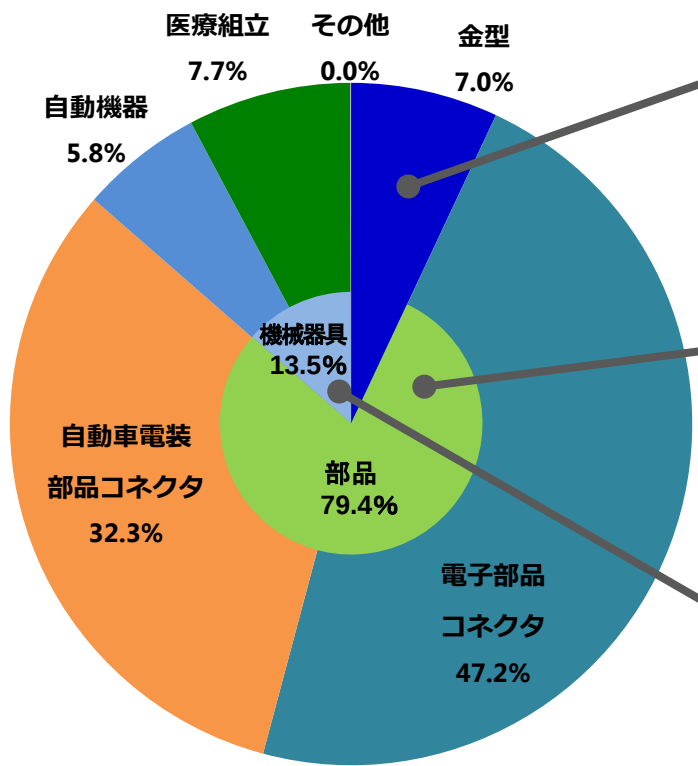
セグメント別売上高 計画と実績

百万円	2017/6期 第2四半期 期初計画		2017/6期 第2四半期 実績		計画比	
	金額	%	金額	%	金額	%
■ 金型	844	7.4	800	7.0	△44	△5.2
■ 部品	8,896	78.5	9,100	79.4	204	+2.3
■ 電子部品コネクタ	5,323	47.0	5,403	47.2	80	+1.5
■ 自動車電装部品コネクタ	3,573	31.5	3,697	32.3	124	+3.5
■ 機械器具	1,585	14.0	1,550	13.5	△35	△2.2
■ その他	4	0.0	5	0.0	1	+25.0
合計	11,329	100.0	11,456	100.0	127	+1.1

セグメント別売上高 前期比較

百万円	2016/6期 第2四半期		2017/6期 第2四半期		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
■ 金型	747	6.2	800	7.0	53	+7.1
■ 部品	9,665	80.9	9,100	79.4	△565	△5.8
■ 電子部品コネクタ	5,866	49.1	5,403	47.2	△463	△7.9
■ 自動車電装部品コネクタ	3,799	31.8	3,697	32.3	△102	△2.7
■ 機械器具	1,535	12.8	1,550	13.5	15	+1.0
■ その他	5	0.0	5	0.0	0	-
合計	11,954	100.0	11,456	100.0	△498	△4.2

17/6期 上半期セグメント別売上高構成



【金型】

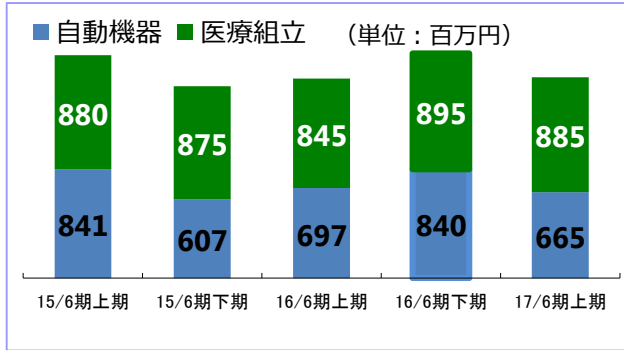
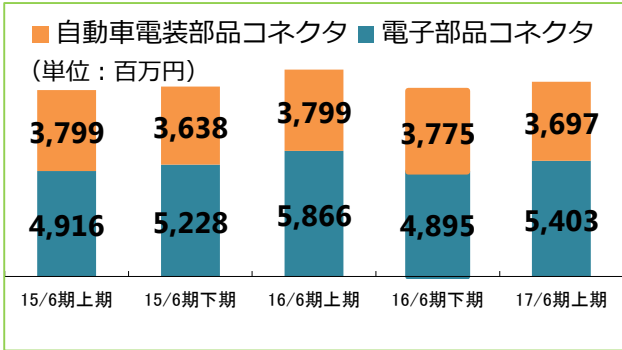
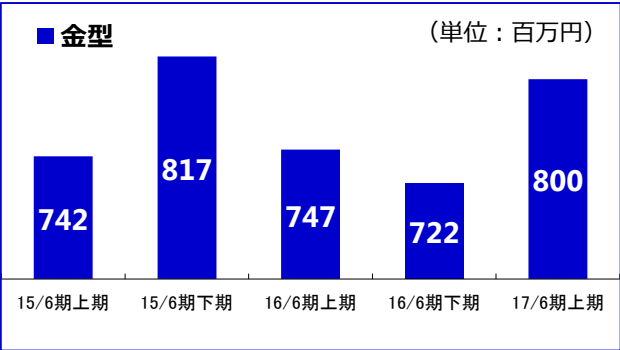
- 電子機器向け金型は高機能端末向けコネクタ用と車載コネクタ用が中心。自動車向け金型には試作用も含まれる
- 結果、売上高は800百万円となり、前年同期比プラス7.1%

【部品】

- 電子部品コネクタは、スマートフォン向け、車載向けが中心
- 自動車電装部品コネクタは、堅調に推移
- 結果、売上高は9,100百万円となり、前年同期比マイナス5.8%

【機械器具】

- 自動機器：車載関連装置と医療関連装置が中心
- 医療組立：主力製品が計画通りに推移
- 結果、売上高は1,550百万円となり、前年同期比プラス1.0%



連結貸借対照表

単位：百万円	16/6期 期末	17/6期 12月末	増減額
流動資産	8,342	8,701	359
現金及び預金	1,415	1,770	355
受取手形及び売掛金	4,592	4,674	82
たな卸資産	2,000	1,970	△ 30
固定資産	9,908	10,109	201
有形固定資産	8,460	8,418	△ 42
無形固定資産	49	63	14
投資その他の資産	1,398	1,627	229
資産合計	18,250	18,811	561
流動負債	4,286	4,719	433
支払手形及び買掛金	2,066	2,265	199
短期借入金+ 一年内返済予定長期借入金	1,115	1,532	416
未払法人税等	360	282	△ 78
固定負債	1,678	1,648	△ 30
長期借入金	396	378	△ 18
純資産	12,285	12,443	158
負債及び純資産合計	18,250	18,811	561

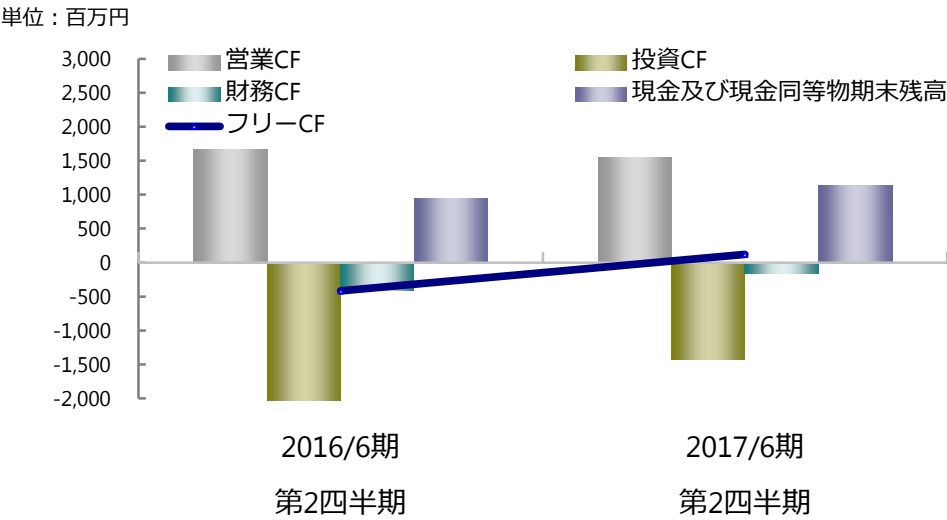
財務体質は
健全な水準を維持

	16/6期末	17/6期12月末
短期借入金	845	1,231
一年内返済予定 長期借入金	270	300

有利子負債	16/6期末	17/6期12月末
	1,512	1,911

	16/6期末	17/6期12月末
流 動 比 率	194.6%	184.4%
当 座 比 率	140.2%	136.6%
固 定 比 率	83.5%	82.5%
自己資本比率	65.0%	65.1%

連結キャッシュフロー計算書

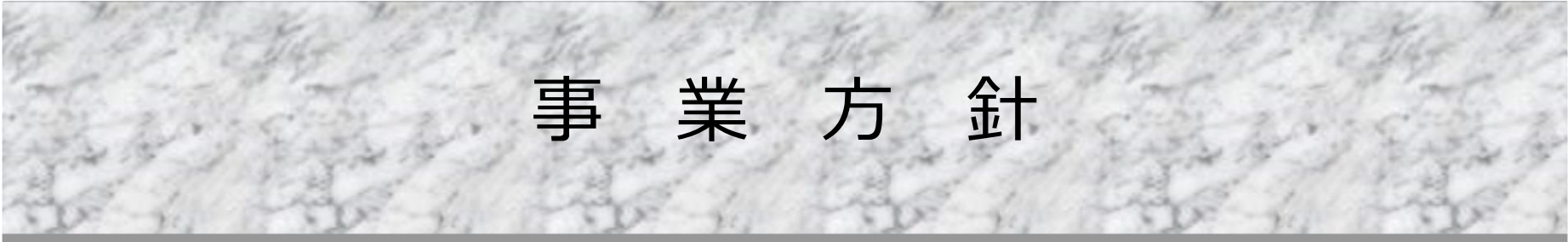


【営業活動によるキャッシュフローの主な項目】	
税 引 前 当 期 純 利 益	628百万円
減 価 償 却 費	623百万円
売上債権の増減（増加：△）	△98百万円
たな卸資産の増減（増加：△）	△8百万円
仕入債務の増減（減少：△）	211百万円

【投資活動によるキャッシュフローの主な項目】	
有形固定資産の取得による支出	△694百万円

【財務活動によるキャッシュフローの主な項目】	
短期借入金の純増加額	469百万円
長期借入金の返済	△137百万円
配当金の支払額	△135百万円
非支配株主への配当金の支払額	△270百万円

単位：百万円	2016/6期 第2四半期	2017/6期 第2四半期
営業活動によるキャッシュフロー	233	850
投資活動によるキャッシュフロー	△707	△735
フリーキャッシュフロー	△474	115
財務活動によるキャッシュフロー	424	75
現金及び現金同等物に係る換算差額	131	163
現金及び現金同等物の増加額	80	354
現金及び現金同等物の期末残高	1,029	1,482

A horizontal rectangular area with a marbled paper texture, featuring swirling patterns of light gray, beige, and brown. The text "事業方針" is centered within this area.

事業方針

モノ作りNo.1を目指して：金型

全工程で精度を追求し理想の金型を

社内型・外販型比率（金額ベース）

15/6期

17/6期第2四半期

社内での部品製造用
社内型の増加金型構造をシンプルに
（加工ステージ削減）組立後の調整が
不要な金型
（一発完成）精度を極める
金型部品「ゼロ」精度

金型納期短縮

金型価格の低減

- ・プレス型での取組み
- ・モールド型での取組み

小ロット向け金型
（新TS-L型の開発）

今期の実績

<小ロット金型の金型制作費削減>

新TS-L型（トライアルシステム-ラージ型）の開発

対象：自動車電装部品の試作型

（客先要求は、試作部品1,000個）

金型費	660万円	▶▶	95万円
金型納期	1.5ヶ月	▶▶	3週間

量産金型の受注に繋がる！

<プレス金型の原価低減>

目標10%削減に対して10%削減の実績

取り組み：PG加工、ED加工精度の向上が貢献

<モールド金型の原価低減>

目標10%削減に対して13%削減の実績

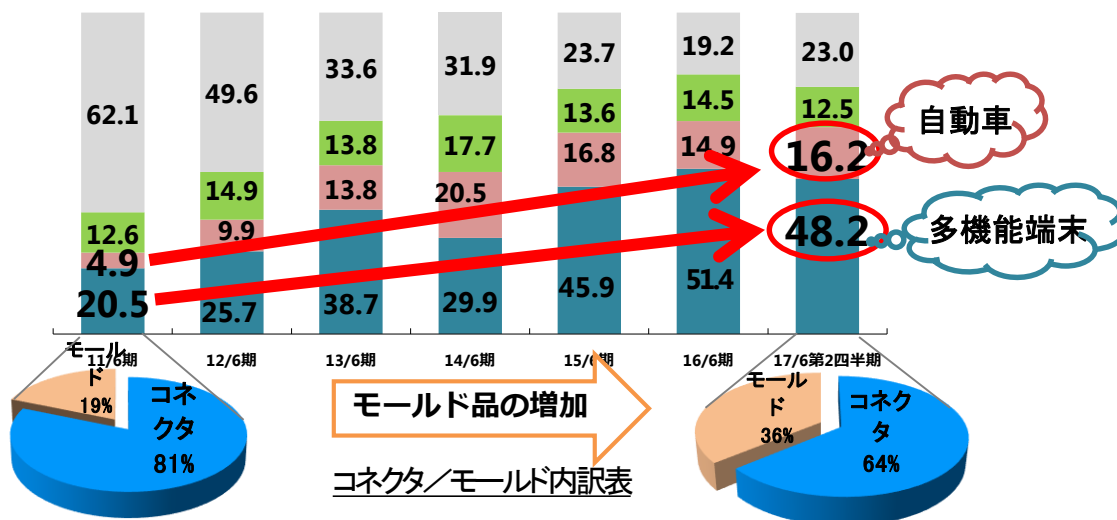
取り組み：パーツ内製化によるコストダウン
内製化率：15/6期15%→16/6期50%→17/6期（目標）55%

モノ作りNo.1を目指して：電子部品コネクタ

独自技術と融合技術の深化

電子部品コネクタ = 用途別の売上比率 (%)

■多機能端末 ■自動車 ■バーインソケット等 ■その他



プレス

SPMアップ

第2四半期実績

モールド

成形タクト短縮

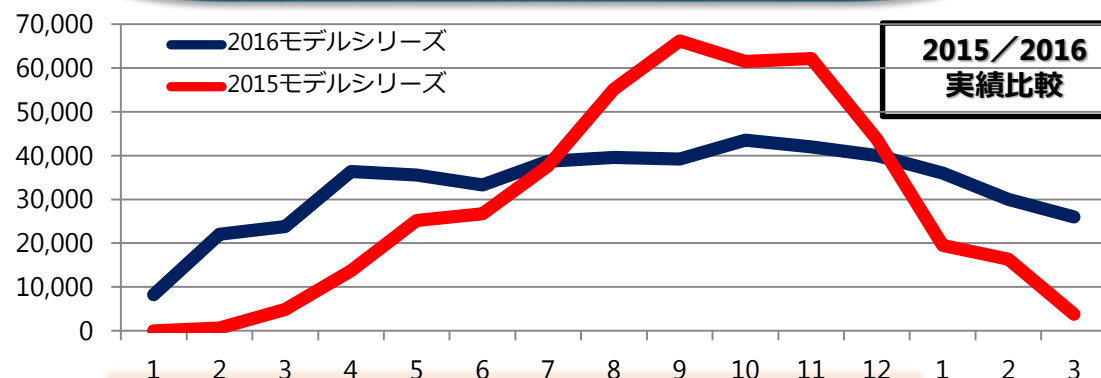
材料溶接機の導入

メンテナンス工数の削減
段取替え工数の低減
材料歩留まりの向上

省金化

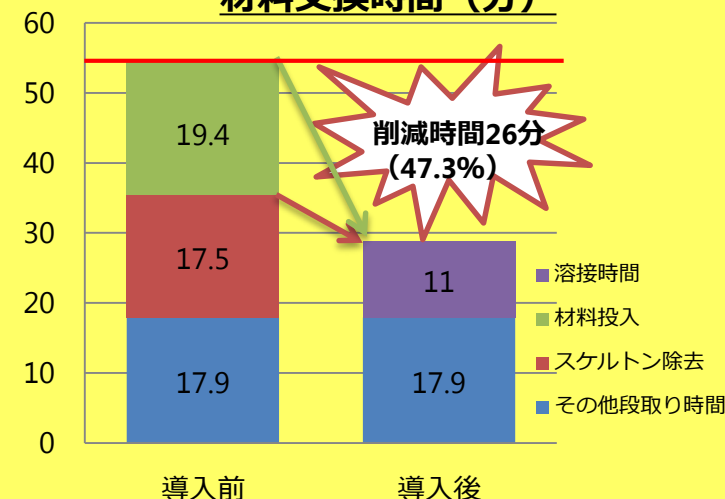
めっき

スマホ向けコネクタ用部品の受注トレンド



- ・月単位受注量の平準化により安定生産 → 利益に好影響
- ・中国向けスマホの分散受注が安定受注を下ざさず
- ・設備投資ロスの低減

材料交換時間 (分)



導入前
今期の中で順調に改善が展開

→ 23アイテムで活用(1つの課内でのトライ)

今後の課題
・全生産課への展開
・厚材料への展開(現状:t=0.06mm厚)

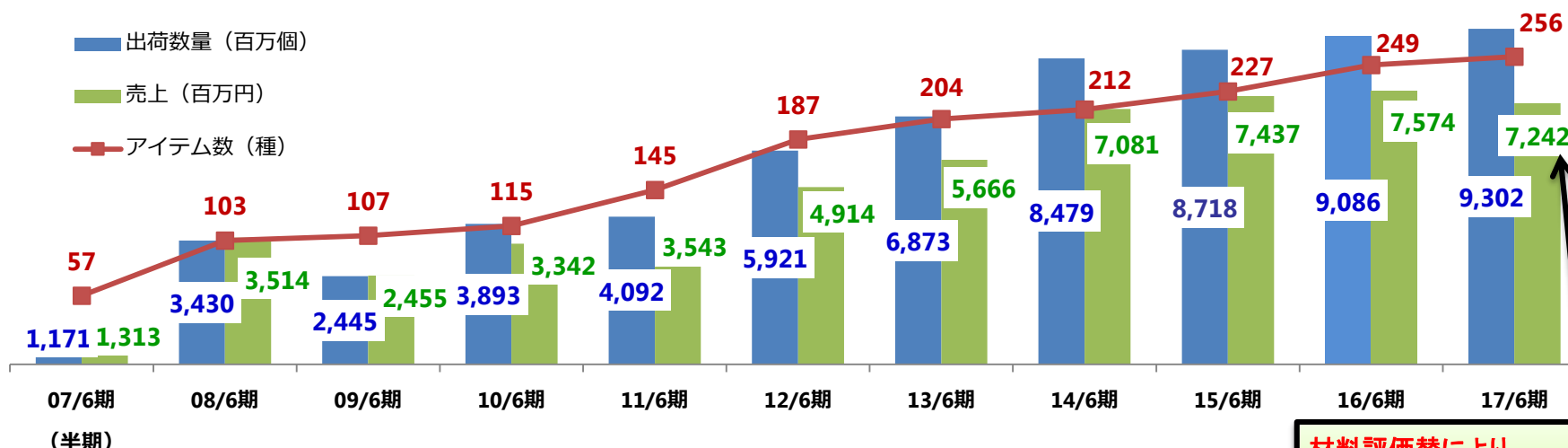
モノ作りNo.1を目指して：自動車電装部品コネクタ

S&Sコンポーネンツ



事業開始より 順調な事業展開

売上及び出荷数量、生産アイテム数の推移

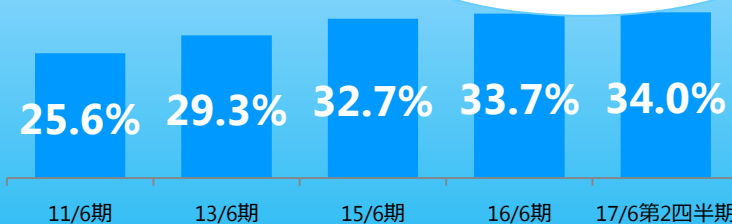


材料評価替により、
見かけ上の売上6%ダウン

生産効率の向上 (2017年6月期半期実績)

- ⌵ 自動化率：通期目標82% → 半期実績82%
- ⌵ 2条化率：通期目標88% → 半期実績86.7%
- ⌵ 2ピッチ化率：通期目標37% → 半期実績34.5%
- ⌵ 人の時間当り生産数：通期目標2.1%UP → 半期実績2.0%UP

S&Sの顧客内シェア推移

金型技術、量産技術を背景に
シェア拡大

※ 顧客の国内の外注先における生産数量から算出

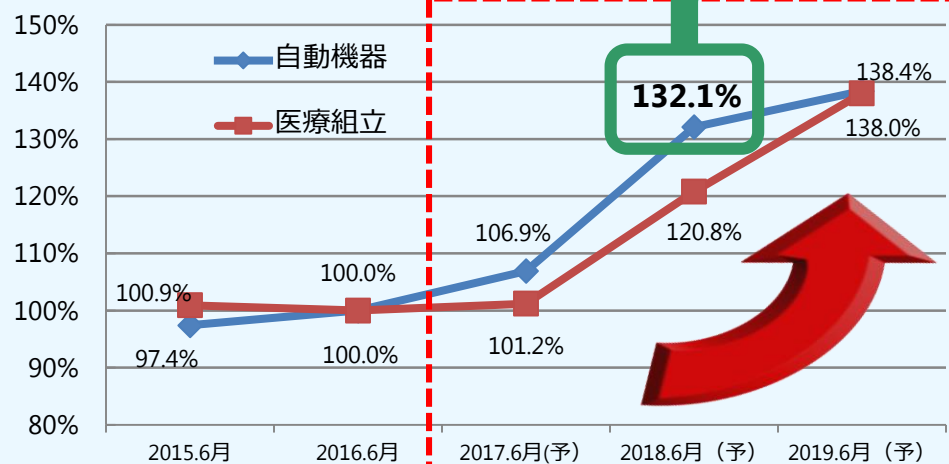
★ ゼロ継続への挑戦《安全》《品質》《納期》

2016年1月～12月 良品率99.98% 不良ゼロを3ヶ月達成！

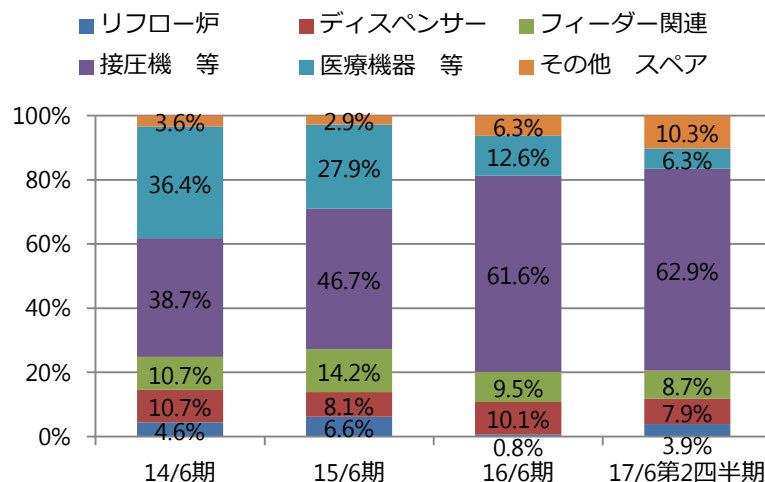
モノ作りNo.1を目指して：機械器具

技術力・提案力を活かし新たな分野にもチャレンジ

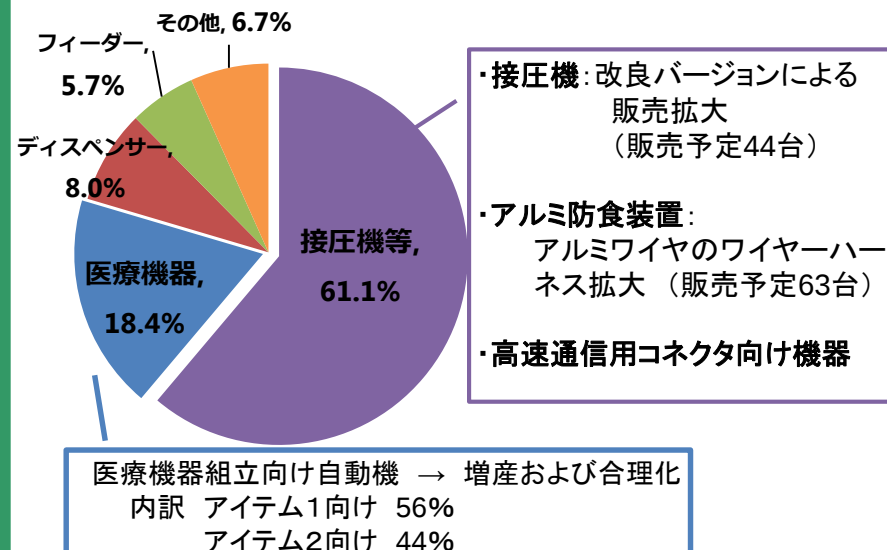
自動機器・医療組立 売上予測（16/6期を100%）



自動機器売上金額率



自動機器次期(2018年6月期)見通し



自社ブランド フリップチップ装置

- 3月に主要客先に開発内容を開示
- 量産機による試作を受付
- 今期末での受注

モノ作りNo.1を目指して：機械器具（医療組立）

受注拡大により更なる安定事業に発展

アイテム2

QSR（品質システム規制）体制を上期で確率！

FDA(アメリカ食品医薬品局)が規制するQSRに準拠した体制構築

当社組立品の米国への輸出が可能となる

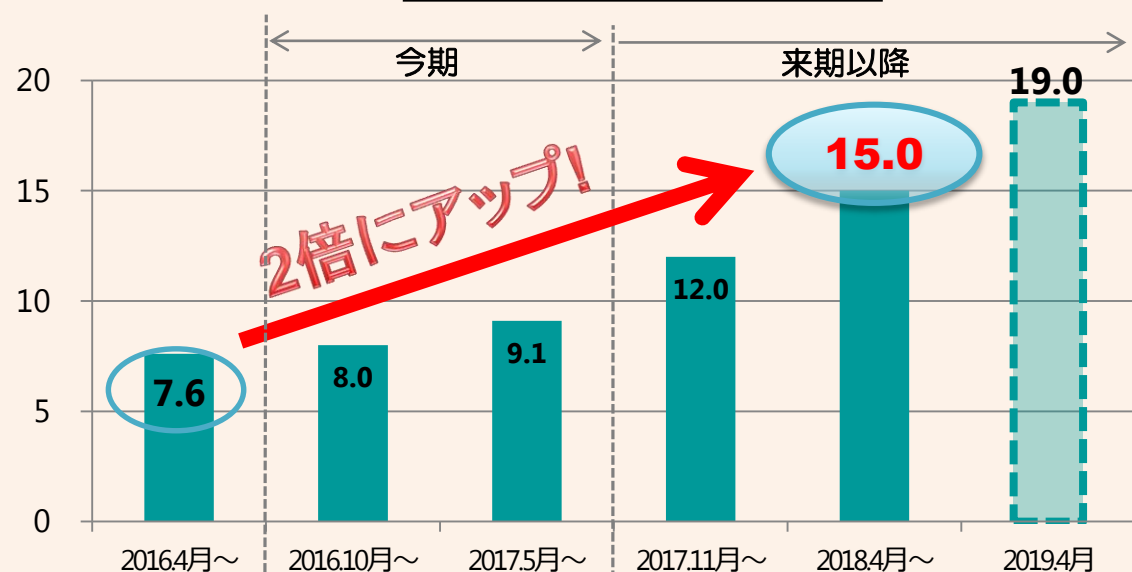
アイテム1

客先提示の予測生産数量

※ 中国・インド向けが好調



アイテム2 生産計画 (単位：万本)



既存フロアの拡充

・2016.11月クレーンルーム完成

増設フロア利用での増産
アイテム2の生産キャパ19万本に拡充

海外事業：中国・インドネシア

赤字の縮小から黒字化へ

中国（鈴木東新電子）

製品ミックス比較

■コネクタ

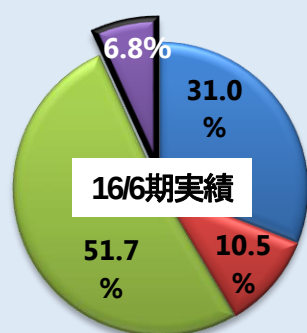
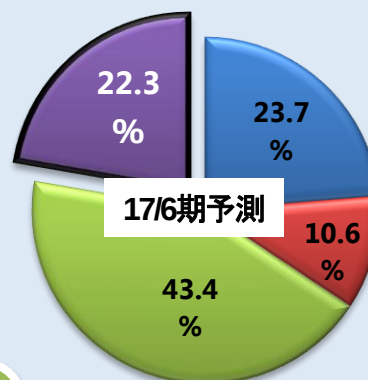
■その他電子向け

■自動車(中国向け)

■自動車(日本向け)

日系企業の撤退
今後更に減少

現状維持

今後の中心事業
安定的に拡大
地産地消事業不採算アイテムで減少化
12月末で1アイテムが終了
今後も終了アイテム有商品構成の切り替え
が順調に進行

黒字化に向けて進行中

2016年12月
営業利益黒字2017年 3月
純利益黒字化

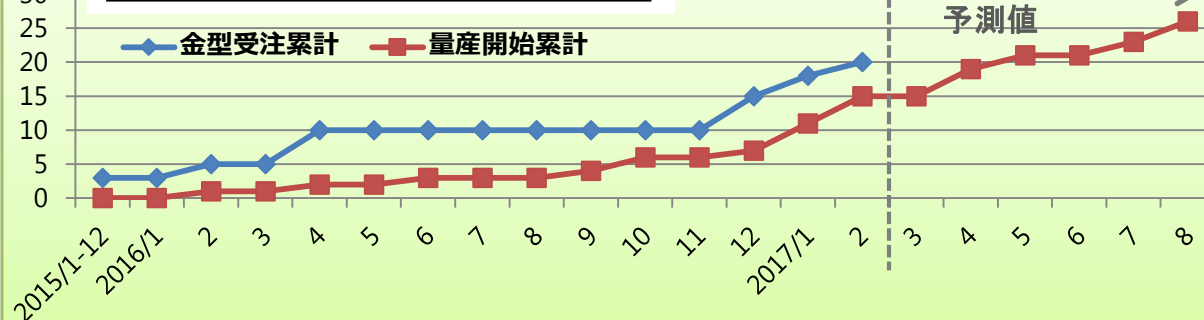
17年6月期第2四半期Topics

PCB向け端子のSnリフロー認可が下りる

PCBは今後も中国内で増加
アイテムの拡大に弾みをつける

インドネシア（SGI、GTB）

SGI新規金型受注、量産開始アイテム数



競合他社からの転注。

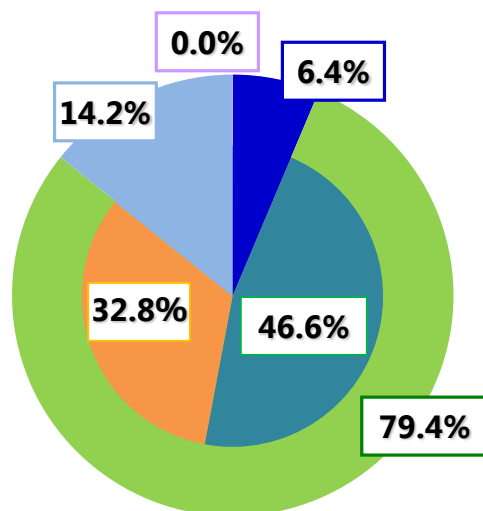
インドネシア全体の景気下げ止まり
から反転。

2020年へ向けて緩やかな回復。

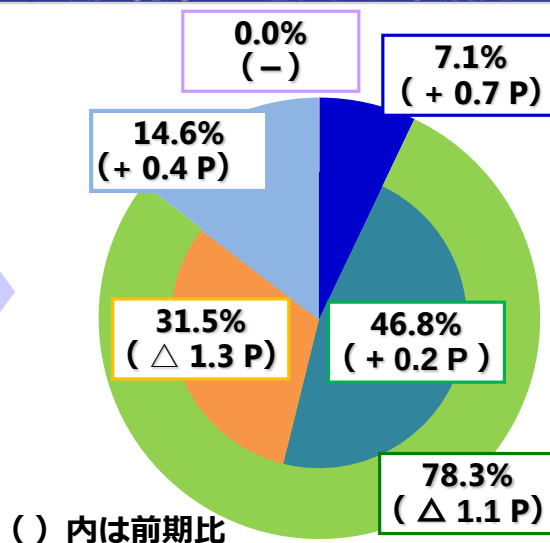
セグメント別売上高

百万円	2016/6期		2017/6期 予想		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
■ 金型	1,469	6.4	1,657	7.1	188	+12.8
■ 部品	18,335	79.4	18,299	78.3	△36	△0.2
■ 電子部品コネクタ	10,761	46.6	10,932	46.8	171	+1.6
■ 自動車電装部品コネクタ	7,574	32.8	7,366	31.5	△208	△2.7
■ 機械器具	3,277	14.2	3,407	14.6	130	+4.0
■ その他	11	0.0	9	0.0	△2	△18.2
合計	23,093	100.0	23,375	100.0	282	+1.2

16/6期：セグメント別売上高構成



17/6期（予）：セグメント別売上高構成



今期のPoint

研究開発費
の増額

スマートフォン次機種、
次々機種の動向

2016年6月期

2017年6月期見通し

増減率

売上高

23,093百万円

23,375百万円

+1.2 %

営業利益

1,436百万円

1,274百万円

△11.3%

下段：利益率

6.2%

5.5%

経常利益

1,264百万円

1,200百万円

△5.0%

下段：利益率

5.5%

5.1%

親会社株主に帰属
する当期純利益

165百万円

577百万円

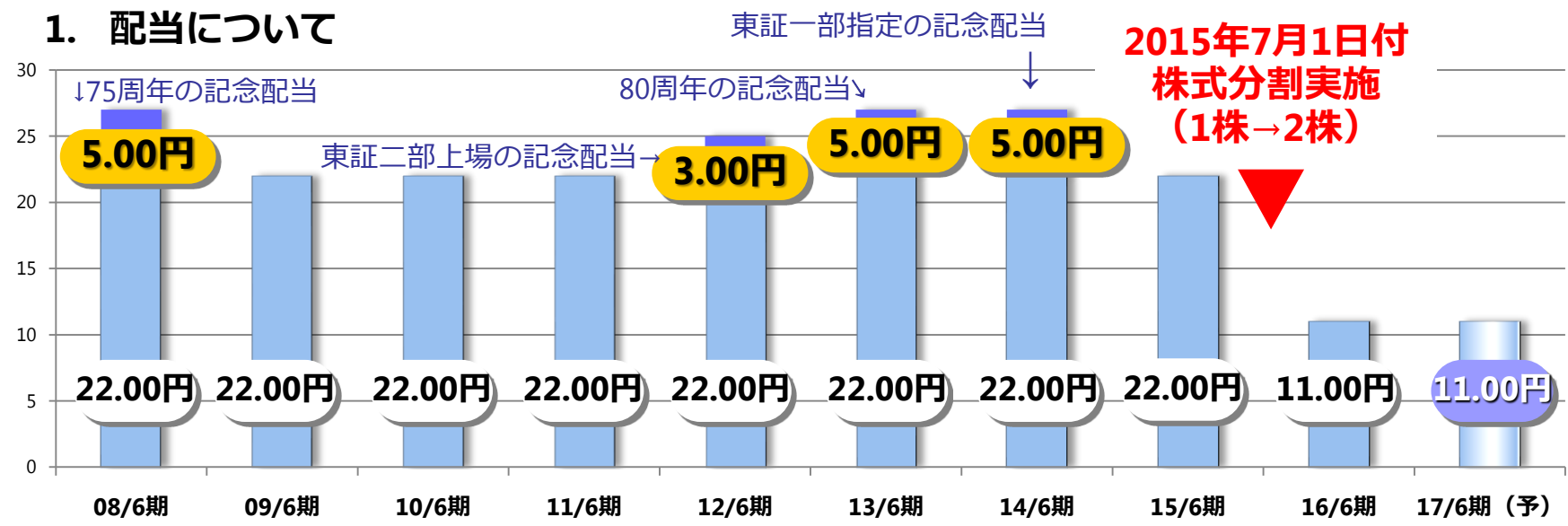
249.1%

下段：利益率

0.7%

2.5%

1. 配当について



2. 株主優待について

◆ 対象となる株主様

毎年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株（1単位）以上を保有する株主様を対象と致します。

◆ 株主優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上1,000株未満	1,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ
1,000株以上	2,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ

Being an “Only-One Company”

本資料は、2017年6月期 第2四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2017年12月末時点のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ

ir2006@suzukinet.co.jp

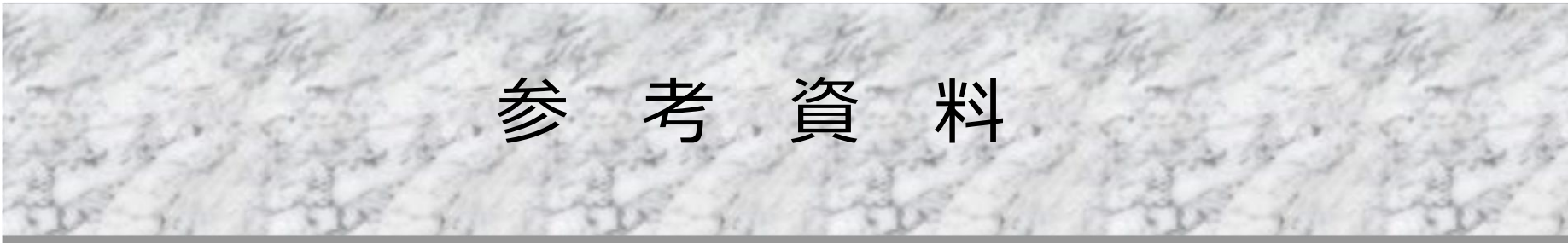


代表取締役社長

取締役 専務執行役員

鈴木 教義

横山 勝登

A horizontal rectangular area with a marbled paper texture, featuring swirling patterns of light gray, beige, and white. The text "參考資料" is centered within this area.

參考資料

経営理念

「不への挑戦」

微細金型技術の徹底的な精度追求 = 不可能への挑戦

商 号

株式会社鈴木

英語名：SUZUKI CO., LTD.

創 立

1933年6月10日

本 社

長野県須坂市大字小河原2150-1

上 場

2001年2月16日 JASDAQ

2014年7月31日 東京証券取引所市場第一部

証券コード：6785

代 表 者

代表取締役社長 鈴木 教義

事 業 内 容

電子部品コネクタ、電子部品搭載装置、半導体関連装置、各種精密プレス金型・
モールド金型の製造・販売

資 本 金

14億3,530万円

発行済株式数

12,390,000株（100株単位）

関 連 会 社

【連結子会社】 国内：S&Sコンポーネンツ株式会社（持株比率：51.0%）、
中国広東省：鈴木東新電子（中山）有限公司（持株比率：80.0%）、中国香港：鈴木東新電子（香
港）有限公司（持株比率：80.0%）、インドネシア共和国：PT. SUGINDO INTERNATIONAL（持株
比率：80.0%）、PT. GLOBAL TEKINDO BERKATAMA（持株比率：30.0%）

従 業 員

【連結】 779名 【単体】 524名

※ 2016年6月末現在

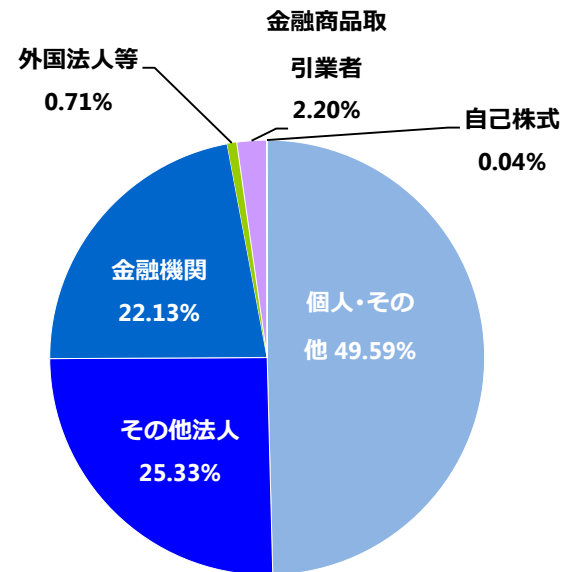
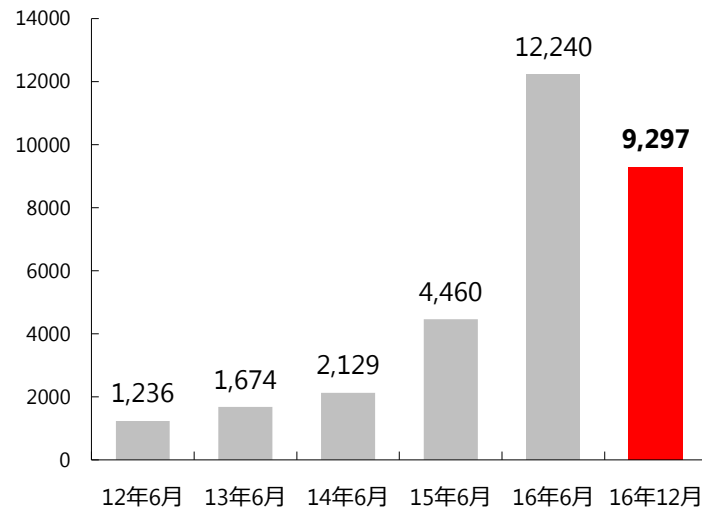
●大株主情報

株主名	持株数 (株)	議決権比率 (%)
有限会社スズキエンタープライズ	2,509,200	20.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,141,800	9.21
鈴木従業員持株会	799,810	6.45
三井住友信託銀行株式会社 (信託口)	363,400	2.93
鈴木 教義	349,440	2.82
株式会社八十二銀行	310,000	2.50
高野 忠和	295,200	2.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	278,900	2.25
小島 まゆみ	208,000	1.67
鈴木 照子	160,000	1.29

●所有者別株式分布状況

	株主数 (名)	株式数 (株)	株式数分布比率
個人・その他	9,155	6,143,936	49.59%
その他法人	57	3,138,900	25.33%
金融機関	26	2,742,000	22.13%
外国法人等	28	88,211	0.71%
金融商品取引業者	30	272,585	2.20%
自己株式	1	4,368	0.04%

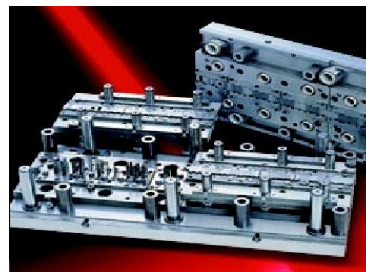
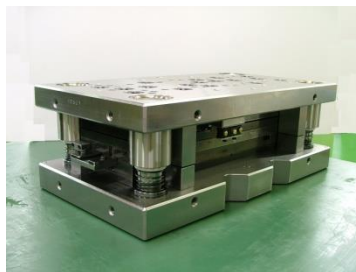
●株主数の推移



金型： ～長年の研鑽による匠の技：当社のコア技術～

業界最高レベルの
精密金型の設計・製造

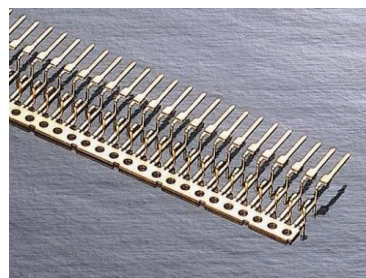
売上構成比：7.0%



部品： ～金型を用いた精密部品の量産加工～

電子部品や自動車
電装部品の量産加工

売上構成比：79.4%



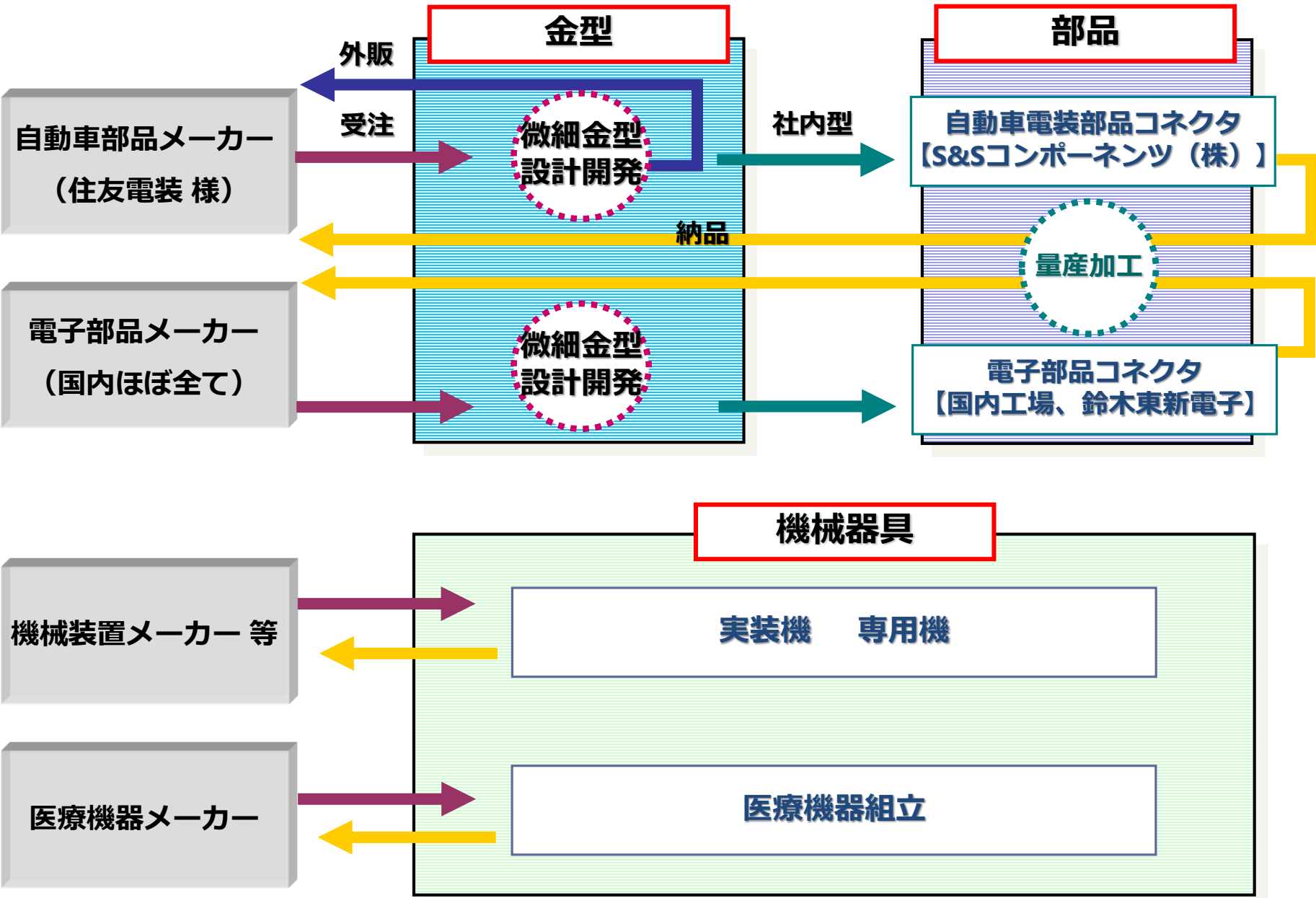
機械器具： ～金型・部品事業で培った技術ノウハウの応用～

実装機や省力化機器の
設計開発
医療関連器具の組立

売上構成比：13.5%

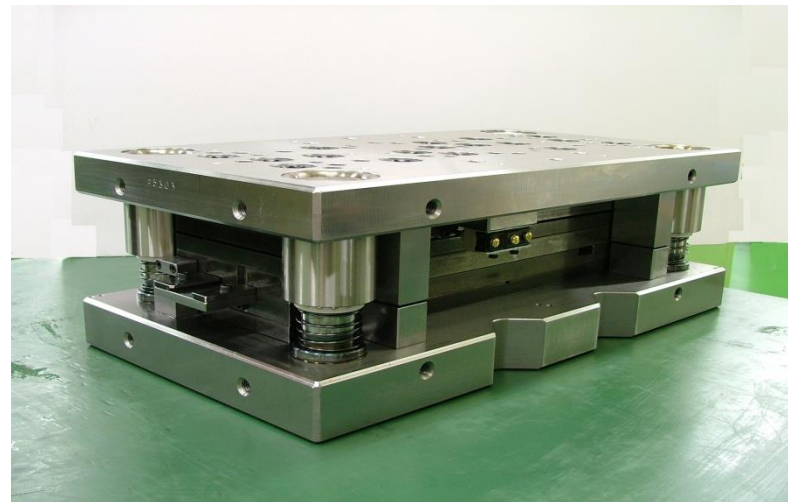
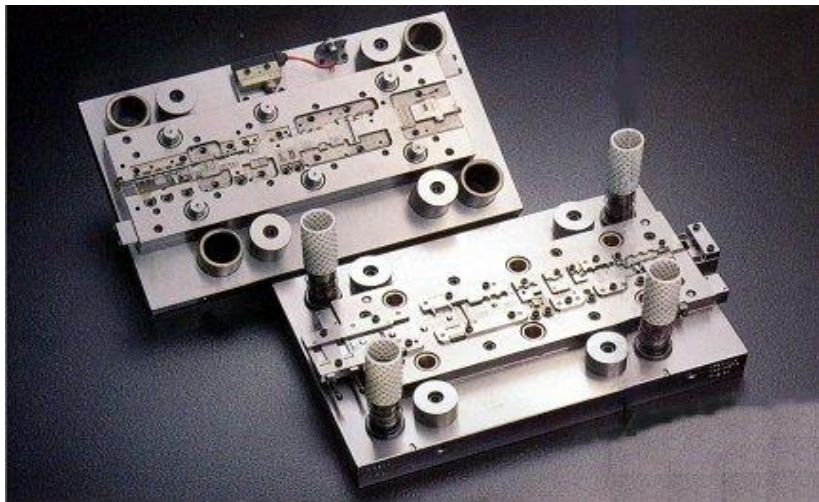


※ 売上構成比：2017/6期第2四半期の数値



「金型」

展開及び組付け時の金型の外観



「プレス加工」

一般的な加工工程のレイアウト

